



## 大刀洗町ボランティア連絡協議会視察会で、挨拶する久我会長

## 研修に参加して

ます。交流会には「大堰アンビシヤス広場ボランティア」「配食サービス青い鳥」の方々が参加。大堰アンビシヤス広場は子どもとの居場所作りをしてあります。活動内容別に8サークルがあり、活動の際に大事にしていることは、ボランティアも参加の子どもと一緒に楽しみながら、体験や経験をたくさんするとのこと、参加の子どもたちの意見を取り入れて積極的に実行すること、

9月5日（金）大刀洗町ボランティア協議会の方との交流会に行きました。朝8時出発、途中はちょっと長時間でした。大刀洗町ボランティアは11団体で活躍されており

参加した子どもたちは自由に動き楽しみながら自分にできることはやつたり作つたりまた洗濯したりと活動すること、だそうです。

家庭に戻つてできることは手伝つて  
いるのだろうと思いました。  
配食ボランティア青い鳥は、一  
人暮らしの高齢者や障がい者の必  
要な家庭に、月2回手作りのお弁  
当を同じ地域の人が届けていると  
のこと。

配達の時、安否確認を兼ねて声掛けも行つて いる そ う で す。

活動の始まりとして、病気で寝込んでいる人、また一人暮らしの高齢者に食事の支援が必要な人がいる、ということが立ち上がりのきっかけになつたとのこと。

終了後、大刀洗平和記念館へ足  
糸屋町でも友愛訪問ボランティア  
アさんが活躍しております。

をお運びました。大刀洗飛行場があり、戦争の悲劇を目にして、平和の大切さを痛感いたしました。

## 久しぶりの研修に

9月5日午前8時に、久我会長他5名、社会福祉協議会3名が、福祉センターを出発し、大刀洗町社会福祉協議会の視察研修に行つ

はコロナ禍以降久しづりです。大刀洗町ボランティアセンターは「町民一人一人が得意なこと好きなことを何か一つ活動をする町」をテーマに発足したそうです。令和7年度は11団体百二十名が参加し、とても活発に動いています。会長、副会長さんは今年代わつたばかりで、若くてやる気満々の人でした。

粕屋町でも昔あつたアンビシヤス広場という子どもたちの活動をサポートするボランティア団体では、若いお父さんの参加で気軽に活動しているようです。

もう一つのボランティア団体は配食サービスです。粕屋町でも婦人会や食進会が弁当づくりを行つていましたが、今はなくなつてしましました。

大刀洗町では、月に2回午後から作り配食して安否確認をしていきます。一食あたり三百円を利用者から貰っています。

お話を聞いたボランティア団体は二つのグループでしたが、他にもいろいろありました。

短い時間でしたが、とても活発な意見交換ができました。私たちももう少し会員を増やしてがんばらうと思います。

# 友愛訪問の会 永井 房子



糟屋地区身体障がい者福祉協会主催  
グラウンドゴルフ大会に粕屋町参加

11月8日（土）粕屋町スパートン公園において糟屋地区身障者協会主催のグラウンドゴルフ大会が秋晴れのもとで行われました。介助のつもりでしたが、急に選手としてクラブ、ボール、マーカーを受け取つてスタートです。長短の8コースを2回挑戦しました。ボールはあっちこっちに飛んでいき、ホールポストに入りません。コツが分かった頃は終了でした。残念ながら柏屋町のメンバーは入賞しませんでしたが、メンバーと仲良くなり楽しい一日でした。

身障者の介助に

## 視察訪問に随行し

9月5日（金）に、大刀洗町社会福祉協議会様への粕屋町ボラ連による視察に随行させていただきました。

大刀洗町ボラ連では、「ちよこつとボランティア」という活動に取り組まれています。得意なことや好きなことを、自分たちができる範囲で空いた時間に活動を行つて います。

視察研修のテーマを「見守り」として、大刀洗町ボランティア連絡協議会様に所属する団体の「配食ボランティア青い鳥」さん、「大堰アンビシャス広場ボランティア」さんとの交流において、貴重なお話を伺うことができました。

染症の影響により中止となりました。配食ボランティア青い鳥では、コロナ禍で1年間の自粛期間を経て、現在も活動されています。

この青い鳥の取組では特に、ボランティアがお弁当を作つて届けており、見守りも行つてていることに着目しました。配達する際に利用者に声掛けを行い、緩やかな見守りを心がけているようです。材料費として1食三百円いただいており、値段は発足当時より変更されていないとのことです。

今回のボラ連の研修に随行させていただいて、ボランティア活動を継続するまでの工夫や、見守り活動への思い等を学ばせていました。対象者は異なりますが、それぞれに見守りに対し思いがありました。

また、ボラ連運営についても、教授いただき、今後柏屋町ボラ連の活動に関わる中で、今回学んだことを還元できるよう努めていきたいと思、ます。

# 社会福祉協議会 白石 りさ

ボランティアが望んでいることは人の温かなつながりであり、地域にはそのつながりを求めている人がおられます。出来ることで手伝つてみようと思われたら、是非会長とお話ををしてみませんか。寄稿をお願いした会員の方には感謝を致します。



10月11日（土）午前、ボラ連運営委員会の折に、町内各地での「花いっぱい運動」に賛同していただける方へ、花の苗をお配りする手配をしました。【ボラ連名のプランターの花です】